

株 主 メ モ

事業年度	毎年2月21日から翌年2月20日まで
定時株主総会	毎年5月（ただし、20日までに開催）
基準日	定時株主総会 毎年2月20日 期末配当金 毎年2月20日 中間配当金 毎年8月20日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	電子公告により行います。 http://www.uny.co.jp/koukoku/index.html 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

上場証券取引所 東京・名古屋（国内市場）

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

（電話照会先）☎ 0120-176-417

（インターネットホームページURL）<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【単元未満株式の買取・買増請求について】

単元未満（1～99株）株式をご所有の株主様は、当社に対してその単元未満株式の買取（ご売却）または、「その単元未満株式数とあわせて1単元（100株）となる株式数」の買増（ご購入）を請求することが可能です。

お手続きの詳細につきましては、

- ・証券会社に口座をお持ちの株主様の場合は、お取引のある証券会社にお問合せください。
- ・証券会社に口座を開設されていない株主様の場合は、上記の株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関にお問合せください。

ホームページをご利用ください

当社ホームページでは、財務情報をはじめ、店舗情報、グループ会社情報など幅広い情報を掲載しております。また、インターネットショッピングサイトも開設し、皆さまの利便性の向上に努めております。ぜひご利用ください。

<http://www.uny.co.jp/>



〒492-8680 愛知県稲沢市天池五反田町1番地
TEL (0587) 24-8111（代表）

ユニーから 株主の皆さまへ

第40期 中間報告書

平成22年2月21日から平成22年8月20日まで



この冊子は環境に配慮した植物油インキを使用しております。

証券コード 8270



取締役社長 前村哲路

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

当社第40期の中間決算（平成22年2月21日から平成22年8月20日まで）のご報告をするにあたり、ご挨拶を申しあげます。

さて、日本経済は輸出産業を中心に緩やかな回復基調にあります。また個人消費も政府の景気対策や猛暑による効果もあり、一部に持ち直しの兆しが出始めております。しかしながら、雇用不安や家計所得の伸び悩みは解消されず、一方で円高の進行による輸出産業への影響が懸念されることから、景気の先行きは、一層不透明になってきております。

こうしたなか、小売業界は新感覚のデザインや機能性を重視した衣料品等の開発に注力するとともに、年金支給日を対象とした特別企画やセールの実施など、消費意欲の喚起に努めてまいりました。一方で、猛暑の効果もあり、今夏は衣料品やエアコン、飲料等の盛夏物の消費が上向きました。

当社でも、こうした猛暑特需に対応した品揃えを強化

するとともに、ユニー誕生40周年を迎え「プレミアムお買物券付き商品券」の発売やお買い上げレシートで応募いただいたお客様から抽選で各種の旅行やイベントなどが当たる「イイこと40の夢プレゼント」企画などを実施するとともに、40周年の記念商品を企画・販売するなど、売上の拡大に努めてまいりました。

環境面でも、COP10・記念協賛事業として「グリーンウェイブ2010」に参加し、植樹活動を実施するとともに、COP10パートナー事業として「テーブルの上の生物多様性」と題した環境活動を実施しております。

商品面では、汗臭や加齢臭を抑制する「DEO ON（デオ オン）」シリーズや吸汗速乾・ダブル消臭機能を持つ高機能素材「COOL ON（クール オン）」シリーズ、軽くて柔らかくストレッチのあるデニムパンツ「エアロライトデニム」、ラメ+蓄光+キシリトール加工で華やかさと涼しさを兼ね備えた新感覚の「キラキラクール浴衣」の企画・販売など、機能性とデザインを追求した新商品の企画開発にも努めてまいりました。

また新設店舗では、埼玉県下にモールである「ピオニウォーク東松山」を、静岡県下にSMである「ピアゴラフーズコア中田店」を、また海外において23年ぶりの出店となる香港2号店「UNY生活創庫LOKFU（樂富）店」を子会社のUNY（HK）CO., LTD. がオープンするなど、規模の拡大と売上高の確保に努めてまいりました。

これらの結果、生活者の節約志向が続くなか、ローコスト経営に取り組み減収増益となりました。なお、当中間期の配当につきましては期初予想通りの1株につき9円とさせていただきます。

今後につきましては、ユニー誕生40周年記念事業を積極的に推し進めますとともに、「マーチャンダイジングの強化」、「現場力の向上」に一層力を入れ、一方ではコスト構造を抜本的に見直し、利益体質の強化を図ってまいります。また、将来に向けた事業拡大の柱として、香港での出店拡大や中国本土での事業展開など、海外展開を積極的に進め、社業のますますの発展を図る所存であります。

株主の皆さまには、引き続き一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

平成22年10月

1971年2月21日にユニー株式会社が誕生（第1期）し、今年誕生40周年（第40期）を迎えました。こうして誕生40周年を迎えられるのもお客様のおかげと感謝し、「イイこと40の夢プレゼント」企画を当上半期に3回行いました。

期間中、アピタ・ピアゴ直営売場（ユーホーム含む）および専門店でてお買い上げいただいた合計5,000円毎のレシートを1口とし、多数のお客様にご応募いただきました。

プレゼント一例

観る・感動編

- ナゴヤドームファミリー観戦ご招待
- 劇団四季「オペラ座の怪人」「ライオンキング」観劇ご招待+お食事付き
- 宝塚歌劇団「スカーレットピンパーネル」宿泊付き観劇ご招待

夢・非日常体験編

- ディナークルーズご招待 ペア宿泊付き
- エステ付き至福の旅ご招待 ペア宿泊付き
- お部屋ピカピカ ハウスクリーニング権
- 最上空間スイートルームで過ごす贅沢な旅 ペア宿泊付き

味わう・グルメ編

- コンクール受賞米 年間お届け権
- 松茸食べ尽くし権

現実派・納得編

- ユニー商品券10万円分 など

- Wチャンス40周年賞×400本（各回）
- ・ユニー商品券2,000円分

第1回



第2回



第3回



営業の概況（連結）

■ セグメント別の業績の動向

＜総合小売業＞
総合小売業は営業収益4,017億48百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益35億42百万円（前年同期は営業損失9億34百万円）となりました。

ユニー(株)においては、今期で誕生40周年（第40期）を迎え、「原点回帰」をテーマに①「マーチャンダイジング改革」、②「現場主義」、③「ローコスト経営」の3つを経営課題としています。①「マーチャンダイジング改革」では、高品質、低価格、かつ利益の出る商品販売を目指した価値ある商品開発や、生活解決・提案業としての新規需要創造などを目標としています。当中間期では、加齢臭を抑制する紳士・婦人用「DEO ON（デオ オン）枕カバー付パジャマ」やスタイルアップ婦人用インナー「美スタイルアップインナー」などを販売開始しました。②「現場主義」では、店舗へ権限と責任をさらに委譲することにより、店舗で自主的な品揃えや売り方などを創意工夫する風土作りを目標としています。③「ローコスト経営」では、業務の集中による店舗省力化と本部作業改善による本部省力化を目標とし、精肉の集中加工センターや店舗の後方業務を集中処理する事務センターを進めています。

商品企画面では、ユニー(株)誕生40周年企画として、40周年記念商品や売場作り、記念セール、キャンペーンなどを実施し、企業の更なる成長に向けて、独自性を主張し存在価値を高めていきます。当中間期では、40周年の感謝をこめて、価格もボリュームも一段と中身を充実させた夏ギフト「お買得品40選」の販売などを実施しました。

その結果、生活者の節約志向、生活防衛意識の高まりが続くなか、既設店売上高は計画を1.2%上回り、前年同期比2.8%減まで回復しました。商品部門別の前年同期比は衣料5.0%減、住居関連3.0%減、食品2.3%減となりました。

当セグメントの営業費用は、ローコスト経営に取り組んだ結果、人件費や水道光熱費などが減少し、3,982億5百万円（前年同期比3.9%減）となり、営業利益は前年同期に比べて大幅に改善しました。

ユニー(株)の当中間期末店舗数は出店2店舗、閉店5店舗（うち、1店舗は建替のための閉店）により231店舗となりました。また、香港の子会社であるUNY（HK）CO., LTD. が香港2号店となる「UNY生活創庫LOKFU（楽富）店」（香港）を平成22年6月にオープンしました。

＜コンビニエンスストア＞

コンビニエンスストアは営業収益954億91百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益94億55百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

(株)サークルKサンクスにおいては、店舗運営面では「お客様満足度の向上」と「加盟店利益の向上」を最優先課題として取り組みを強化し、商品面では看板ブランド「Cherie Dolce」の更なる強化やカウンターフーズの強化、お客様の多様化する生活シーンに対応した商品、売場の実現に取り組みました。また、7～8月の猛暑効果により夏物商品が大幅に伸長したことに加え、主力のファーストフードも回復傾向を示し、既設店売上高（単体）は前年同期比4.3%減と期初の計画を上回りました。

当セグメントの営業費用は経費削減による販売費及び一般管理費の減少により、860億36百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

当中間期末店舗数は出店162店舗、閉店129店舗により5,435店舗となりました。なお、非連結のエリアフランチャイザーを含む合計店舗数は6,322店舗となりました。

＜専門店＞

専門店の営業収益は424億68百万円（前年同期比8.3%減）、営業利益11億16百万円（前年同期は営業利益41百万円）となりました。

(株)さが美においては、再建計画最終年度にあたる本年度を「成長へ向けた基盤づくりの年」と位置づけ、店頭力の強化、ローコスト経営などに取り組みました。さめの事業において客数が前年を上回るなど一部で売上高の低下に歯止めが掛かってきましたが、再建計画に沿った店舗閉鎖、客単価の減少などにより、営業収益151億7百万円（前年同期比16.1%減）、営業利益23百万円（前年同期比67.7%減）となりました。当中間期末店舗数は出店1店舗、閉店17店舗により344店舗となりました。

(株)バレモにおいては、外資系専門店等のファストファッションの台頭による更なる競合激化や消費者の価格訴求への傾向が強まるなどの厳しい経営環境が続きましたが、主力事業の収益力強化に向け、営業力、商品力の強化やスクラップ&ビルドによる店舗基盤の強化、ローコスト経営の徹底に取り組みました。その結果、既設店売上高が前年同期比0.6%増と計画を7.6%上回り、営業収益は157億43百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は9億29百万円（前年同期比196.8%増）と大幅に改善しました。当中間期末店舗数は出店22店舗、閉店18店舗により577店舗となりました。

(株)鈴丹においては、平成22年2月策定の「構造改革計画」に基づく事業再構築や営業基盤強化等に取り組みました。また、客数増加対策として、価格戦略商品や付加価値のある商品を安定的に供給した結果、既設店客数が前年同期並みまで回復し、既設店売上高は計画を4.1%上回る前年同期比5.9%減まで回復し、営業収益は81億58百万円（前年同期比4.3%減）となりました。また、不採算店の閉鎖や削減効果による家賃、販促費及び人件費等の経費削減により、営業利益は2億66百万円（前年同期は営業損失37百万円）と前年同期に比べて改善しました。当中間期末店舗数は出店4店舗、閉店34店舗により254店舗となりました。

＜金融＞

金融の営業収益は117億95百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益20億64百万円（前年同期比47.9%増）となりました。

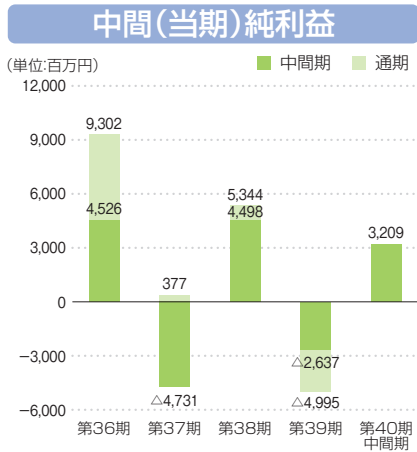
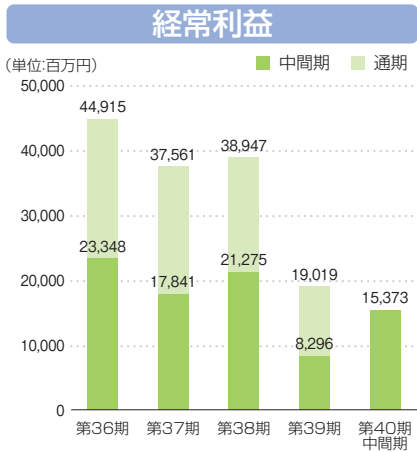
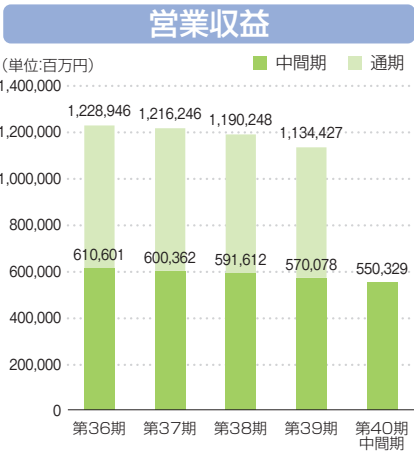
(株)UCSにおいては、包括信用購入あっせん分野は政策効果に加え、ユニー(株)の誕生40周年記念とのタイアップ企画等により取扱高が好調に推移しましたが、融資分野は平成22年6月18日に改正貸金業法が完全施行されたことにより取扱高が大幅に減少しました。その結果、営業収益88億39百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

(株)ゼロネットワークスにおいては、ATM運用業務の受託事業が順調に推移し、営業収益29億58百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

当セグメントの営業費用は、貸倒関連費用の減少や会員募集コストの削減などにより97億31百万円（前年同期比9.2%減）となりました。

財務諸表（連結）

中間連結貸借対照表		
	(単位:百万円)	
	当上半期	前年上半年期
	平成22年8月20日現在	平成21年8月20日現在
【資産の部】		
流動資産	305,678	305,159
固定資産	656,137	673,150
有形固定資産	436,900	437,805
無形固定資産	37,469	40,256
投資その他の資産	181,766	195,087
資産合計	961,815	978,309
【負債の部】		
流動負債	319,553	328,588
固定負債	303,322	307,807
負債合計	622,875	636,396
【純資産の部】		
株主資本	237,349	240,153
資本金	10,129	10,129
資本剰余金	58,824	58,824
利益剰余金	169,597	172,400
自己株式	△1,202	△1,201
評価・換算差額等	△120	943
その他有価証券評価差額金	1,491	2,391
繰延ヘッジ損益	△80	△9
土地再評価差額金	△425	△518
為替換算調整勘定	△1,106	△919
少数株主持分	101,711	100,816
純資産合計	338,939	341,913
負債及び純資産合計	961,815	978,309



中間連結損益計算書		
	(単位:百万円)	
	当上半期	前年上半年期
	自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日	自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日
売上高	466,517	485,621
売上原価	344,398	359,453
売上総利益	122,119	126,168
営業収入	83,811	84,456
不動産賃貸収入	19,956	20,022
手数料収入	63,855	64,434
営業総利益	205,930	210,624
販売費及び一般管理費	189,446	201,271
営業利益	16,484	9,353
営業外収益	1,935	2,440
営業外費用	3,046	3,497
経常利益	15,373	8,296
特別利益	108	550
特別損失	4,540	9,399
税金等調整前中間純利益又は中間純損失(△)	10,940	△552
法人税、住民税及び事業税	5,317	4,130
法人税等調整額	237	△3,380
少数株主利益	2,177	1,335
中間純利益又は中間純損失(△)	3,209	△2,637

中間連結キャッシュ・フロー計算書		
	(単位:百万円)	
	当上半期	前年上半年期
	自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日	自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,737	29,001
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,904	△25,692
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,445	2,316
現金及び現金同等物に係る換算差額	83	50
現金及び現金同等物の増加額	17,361	5,675
現金及び現金同等物の期首残高	91,777	94,733
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	—	188
現金及び現金同等物の中間期末残高	109,139	100,597

(注) 記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

営業の概況(単体)

当小売業界におきましては、生活者の節約志向が続くなか、猛暑による夏物商品の販売好調により消費の盛り上がりが見られたものの、前半の天候不順等による落ち込みを補うことはできず厳しい状況が続きました。

このような環境のなか、当社はお客様からの一層の信頼やご支持を得るため、商品や営業力を強化するとともにスリムなコスト構造作りに努めてまいりました。また、当期はユニー誕生40周年にあたり多様な販売促進を実施してまいりました。商品面では特別記念商品および記念増量商品の販売、営業企画面ではプレミアムお買物券付き商品券（プレミアムお買物券1,000円分+ユニー商品券1万円分（合計11,000円分））を1万円での限定販売やメーカー様協賛におけるユニー商品券プレゼント等を実施しました。一方、昨年8月21日より販売を開始しました当社・イズミヤ株式会社・株式会社フジの3社協業による共通開発のプライベートブランド商品「Style ONE」の積極的な開発と販売に取り組んでまいりました。

エコ・ファースト企業としてタンスに眠る衣料品のお引取り企画を実施し、アピタでは、店頭まで衣料品をご持参いただいたお客様に、お引取りした衣料品の点数（3点毎）に応じてアピタ直営の衣料品・住まいの品売場にて1回のご精算でお買い上げ3,000円（税込み）毎に1枚（500円引分）ご利用いただける「エコとくお買物500円引券」をプレゼントいたしました。この券の1枚使用につき5円を環境省生物多様性条約の「グリーンウェイブ2010」の活動に当社負担として寄付しCO₂削減

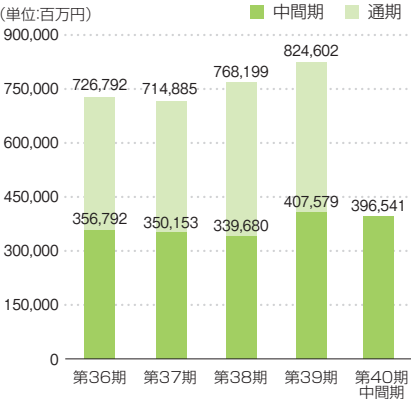
に役立てました。また、「食品リサイクル法」に基づき、平成18年より当社とその共同事業者（再生利用事業者、畜産物生産者）とともに、横浜市内店舗から発生した食品循環資源の再生利用事業促進に取り組んでまいりましたが、平成22年8月19日に農林水産大臣・環境大臣・経済産業大臣より「再生利用事業計画」の認定を受けました。なお、当社の認定された「再生利用事業計画」は3件目となるとともに同一の食品関連事業者が3件目の認定を受けるのは初めてのことです。

その結果、競争の激化と生活防衛意識の高まり等により厳しい環境にあり、当上半期の営業収益は前年同期比2.7%減の3,965億41百万円となりました。また、利益面につきましては、営業利益は34億24百万円、経常利益は41億7百万円、中間純利益につきましては、21億40百万円となりました。店舗面につきましては、5店舗を閉鎖し2店舗を新設したため当上半期店舗数は231店舗となりました。

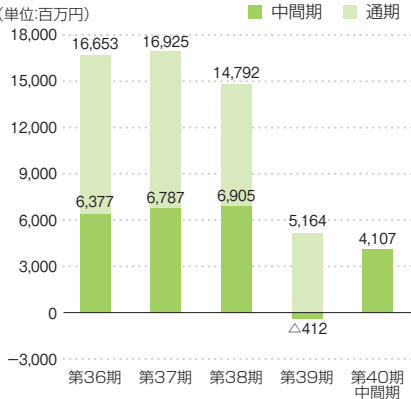
当上半期の新設店舗一覧

- 平成22年
3月
- ▶ ビオニウオーク東松山 **アピタ東松山店** (埼玉県東松山市)
 - ▶ ビアゴラ フーズコア **中田店** (静岡県静岡市)

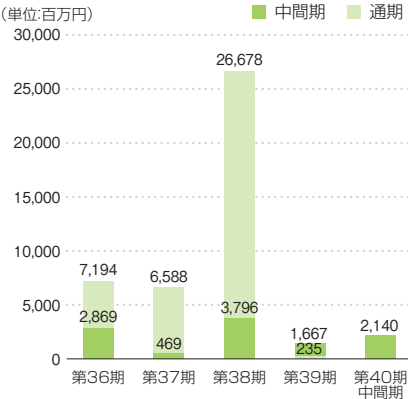
営業収益



経常利益



中間(当期)純利益

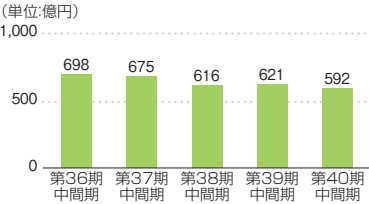


商品部門別の概況

衣料部門

衣料部門につきましては、売場の適正坪数化を図りながらお客様に支持される売り場作りに努めてまいりました。また、「あなたの欲しい!をカタチに。」をコンセプトに用途・機能を提案する商品開発やコスト削減を図る商品開発を進めて単品拡販に努めてまいりました。その結果、競争の激化と生活防衛意識の高まり等により厳しい環境にあり、売上高は前年同期比4.8%減の592億15百万円となりました。

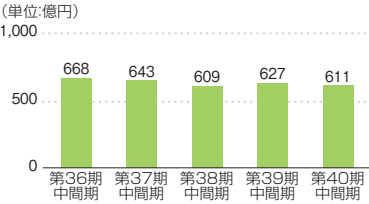
売上高



住居関連部門

住居関連部門につきましては、商品開発部門の導入により商品開発の強化を図るとともにユニー誕生40周年企画や40周年記念商品導入によりお客様に喜んでいただけるご提案を図りました。また、部門統合するとともにピアゴ店舗の標準化に取り組み効率化を図りました。その結果、競争の激化と生活防衛意識の高まり等により厳しい環境にあり、売上高は前年同期比2.6%減の611億27百万円となりました。

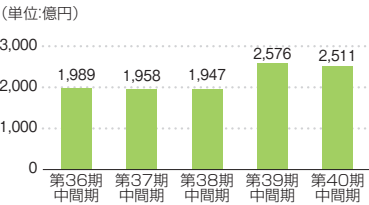
売上高



食品部門

食品部門につきましては、アピタ・ピアゴの業態戦略を確立し、お客様への提案力の強化、お客様に最も近い現場の判断力・企画力の強化に努め、生活向上店としてのアピタ、生活便利店としてのピアゴとしてお客様にあてにされる店作りに取り組んでまいりました。また、開発商品の拡大を図るとともにユニー誕生40周年企画や40周年記念商品導入によりお客様に喜んでいただけるご提案を図りました。その結果、競争の激化と生活防衛意識の高まり等により厳しい環境にあり、売上高は前年同期比2.5%減の2,511億93百万円となりました。

売上高



PICK UP

吸汗速乾・ダブル消臭の機能性新プライベートブランドインナー「COOL ON」

3月26日より、吸汗速乾・ダブル消臭機能を持つ高機能素材インナーの新プライベートブランド「COOL ON〜クールオン〜」をアピタ・ピアゴ198店舗（ユーホーム・ラ フーズコアを除く）で発売いたしました。「COOL ON〜クールオン〜」は、ビジネスタイプ・カジュアルタイプ・スポーツタイプ・エレガントタイプと幅広いアイテムを用意するとともにお求めやすい価格（780円）を実現いたしました。



アピタ・ピアゴのお客様の期待にしっかりと応えていくために、平成22年3月より携帯電話のインターネット機能を利用したお客様サイト「アピタ・ピアゴ イイことモバイル」を創設し、ご登録いただいた会員様に企画のご案内やお得情報・クーポン情報等を配信するサービスを開始いたしました。

店頭リーフレット



携帯電話画面例



- | | |
|--------|---|
| サービス | 携帯電話利用者による「アピタ・ピアゴ イイことモバイル」会員を募集し、携帯会員へのサービスを実施 |
| 目的 | 「集客」中心の施策から「One to One」（個客）志向の施策を導入し、売上拡大・利益増加を達成する |
| 目標 | ステップ1 会員を大量に集める→100万人を目指す
ステップ2 ユニ一のファンを作る→ユニ一のマーチャンダイジングに賛同していただくお客様を大切にする
ステップ3 属性情報を活用した販促を実施する→脱「チラシONLY」の販促手法の導入 |
| サービス内容 | 1. 会員様による携帯サイト（携帯ホームページ）の閲覧
2. 会員様への属性を利用したメール配信
3. お得情報の配信やクーポンなどのプロモーションの実施 |
| お申込方法 | 店頭リーフレットやチラシのQRコードから携帯電話を使って入会画面にアクセス ※会費無料 |

今後も、よりお客様の立場に立った商品開発や企画のご提案、サービスができるように取り組んでまいります。

ピオニウォーク東松山

平成22年3月19日グランドオープン
当社の埼玉県下初のモール型ショッピングセンターアピタ東松山店と120の専門店モールが誕生
お客様の「希望」・「願い」・「理想」が形になる、常に新しさのあるショッピングセンターをテーマにキーワードは「ともに発見、ともにしあわせ」



東松山市は花とウォーキングの街であり、東松山市の花である牡丹を表す「PEONY（ピオニー）」と地域の皆さまとともに歩む「WALK（ウォーク）」また、ウォーキングの「WALK（ウォーク）」を併せて「PEONY WALK（ピオニウォーク）」と名づけました。

地域の皆さまとの調和、自然との共生を第一に考え、皆さまの生活にしっかり寄り添い、お役に立てる存在として、東松山市の新たな情報発信基地となり、地域の皆さまに愛されるショッピングセンターを目指します。

ピアゴ ラ フーズコア中田店

平成22年3月25日オープン
ピアゴ ラ フーズコアとして静岡県下へ初出店

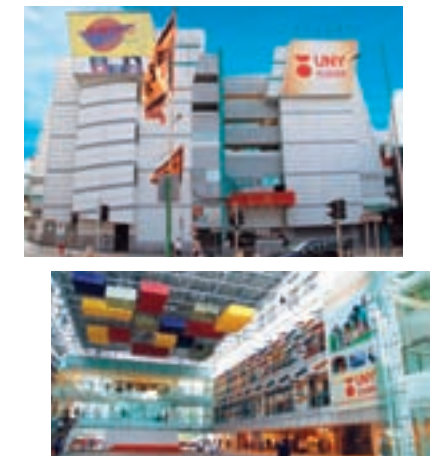


ピアゴ ラ フーズコア中田店は、日常生活に必要な食品を中心に品揃えしており、地域に密着したスーパーマーケット（食品スーパー）として「生活便利店」を目指します。

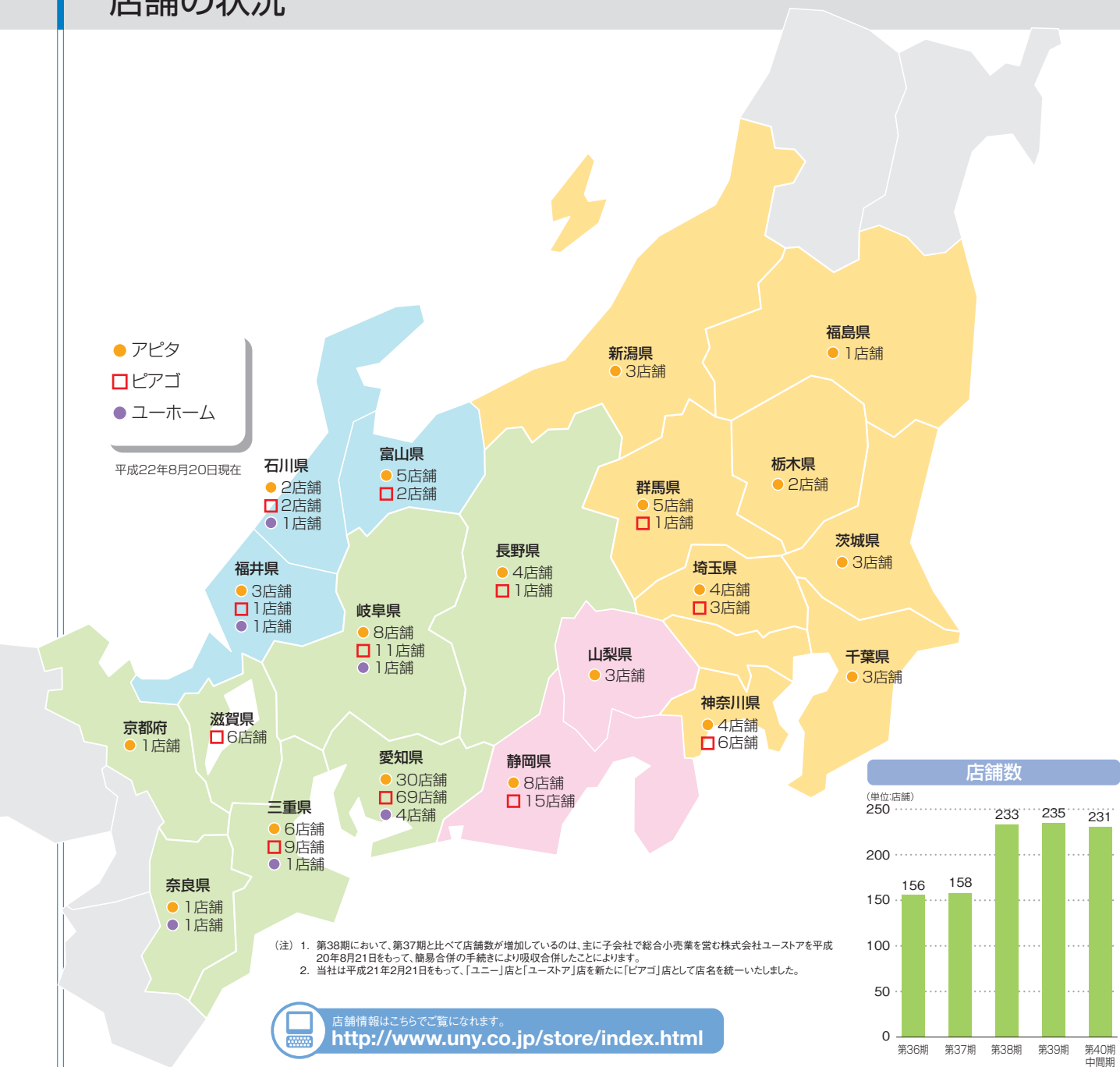
UNY 生活創庫 LOKFU（楽富）店

子会社のUNY（HK）CO.,LTD. は、香港の九龍半島の中央に位置する楽富に、ユニー香港2号店となる「UNY 生活創庫 LOKFU（楽富）店」を平成22年6月5日にグランドオープンいたしました。

2核1モールのショッピングセンターの北翼地上5階建ての2～3階にて展開しております。



店舗の状況



企業データ

会社の概要

(平成22年8月20日現在)

社名	ユニー株式会社
本店所在地	〒492-8680 愛知県稲沢市天池五反田町1番地 TEL(0587)24-8111(代表)
設立	昭和25年3月13日
資本金	10,129,253,310円
従業員数	29,068名(パートタイマー等の期中平均特勤者数を含む)
店舗数	231店舗(1府19県に出店)

役員

(平成22年8月20日現在)

佐々木 孝 治	取締役会長
前 村 哲 路	代表取締役社長
松 田 邦 男	専務取締役 専務執行役員
小 田 一 忠	取締役 執行役員
前 田 三 男	取締役 執行役員
手 塚 文 人	取締役 執行役員
佐 古 則 男	取締役 執行役員
村 瀬 毅 毅	取締役 執行役員
越 田 次 郎	取締役 執行役員
伊 藤 聡 聡	取締役 執行役員
加 納 昭 義	取締役 執行役員
小 川 高 正	取締役 執行役員
西 川 俊 和	取締役
佐 々 和 夫	取締役
吉 田 龍 美	常勤監査役
宮 井 眞 一	常勤監査役
額 額 和 義	監査役
丹 下 幾 夫	監査役

(注) (1) 取締役佐々和夫氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
(2) 監査役額額和義、丹下幾夫の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

執行役員

藤 田 敏	松 波 輝世治	安 藤 巳代治
角 田 吉 隆	岸 本 敬 三	堤 芳 彦
坂 野 一 清	伊 藤 章	岩 田 正 也

株式の状況

(平成22年8月20日現在)

株式の総数

発行可能株式総数	600,000,000株
発行済株式の総数	198,565,821株
株主数	9,018名

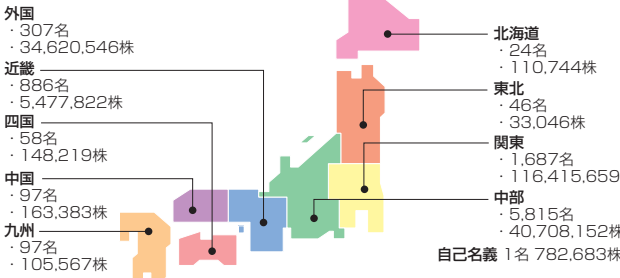
大株主

(単位:千株)

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	17,923
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,871
日本生命保険相互会社	8,508
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,146
あいおい損害保険株式会社	6,003
伊藤忠商事株式会社	5,957
第一生命保険株式会社	5,000
東京海上日動火災保険株式会社	3,819
ユニー第二共栄会	3,642
みずほ証券株式会社	3,339

(注) 平成22年10月1日をもって、あいおい損害保険株式会社とニッセイ同和損害保険株式会社は合併し、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社となりました。

地域別分布状況



所有者別分布状況

